

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」笠岡校			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月14日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援、療育に対する気持ち	担当制を採用することで、支援に対する思いを形にすることができる。	社内や社外の研修への積極的な参加
2	職員それぞれが目的意識を持ちながら支援を考え、実践している点	みんなで利用者へのかかわりを継続的に続けながら実態把握を行うこと。	ミーティングや朝礼など実施することでより情報の共有を進めていく。
3	訪問支援や連携実施の意識	通所だけでなく様々な視点から支援方法を提案できる仕組みづくりを行っている。	職員間での知識や経験の差を埋めるだけの情報共有が行えると良いです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	病院や学校との連携が定期的に実施できていない	相手へのメリットが見えていない。そして、提供できていない。	かかわりの頻度を増やし、知ってもらう。さらに情報開示の方法を増やしていく。
2			
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」笠岡校					公表日	2026 年 2 月 14 日	
		利用児童数				16		回収数	16
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4	0	2			安全に活動ができるように努めて参ります。□
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	0	0	0			職員数に関わらず、満足いただけるように努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	4	0	1			施設内の環境と利用者の特性に合わせて、個別に必要な補助や声掛けを行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	2	0	0			
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0	0			今後もお子様1人ひとりに合わせた個別支援に努めさせていただきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	1			今後もお子様1人ひとりに合わせた個別支援に努めさせていただきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	2			お子様の発達状況に合わせた個別支援計画の作成に努めます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	1			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1			今後もお子様1人ひとりに合わせた個別支援に努めさせていただきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1	0	2			職員間で支援内容を共有しています。固定化にならないよう複数の指導員で関わらせていただいています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	3	7			今後、ご希望をいただいた際は検討させていただきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0			丁寧な説明を心がけて参ります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0			丁寧な説明を心がけて参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	1	6			開催も検討させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	0	0			定期的に面談機会を設けていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0			1人ひとりに寄り添った支援をさせていただきながらお困りごとなど聞けるよう常に心がけていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	8	0	6			開催も検討させていただきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	0	1		現在は、必要に応じて個別で対応させていただいております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0		必要に応じて個別で対応させていただいております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	1	0		月1度の通信（きらりタイムズ）と、月2回のブログで配信をしています。ご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	0	4		マニュアル類は、玄関に設置しております。防災訓練への参加のご希望がありましたら、お伝えください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1		毎月1回防災訓練を実施しており、報告書を校舎に掲示しています。ご覧ください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	4	今まで経験なし	事故等が起きないよう、日々努めます。発生した際はマニュアルに従い、速やかに対応をさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0		安心・安全にできる環境づくりに努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	0	先生が大好きです楽しみすぎて早く週1回行けるようになります。	楽しく通っていただけるように支援を提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	いつもありがとうございます	ありがたいお言葉をありがとうございます。一層サービスの向上に努めさせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」笠岡校					公表日	2026 年    2 月    14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		運動をしたいときなどはパーテーションを動かしてスペースを作っている 特性に合わせた支援スペースの確保を行っている					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		シフト表などを用いて適切であるように努めている					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		トイレには補助便座や踏み台などを用いている。 支援時には児にあった机を選ぶようにしている	トイレの段差や床の硬さで怪我をする恐れがある				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		蚊やゴキブリが出ないように子どもたちの手が届かないところに虫よけを置いている 毎時間の消毒を行っている					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		面談時・利用時・フィードバック等で保護者や児から聞き取りを行いながら適切に使用が出来る様環境調整を行っている					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		共通理解する場を設けながら意見交換を行っている					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者アンケートをもとに改善計画をたて実施している					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼を毎日行っている 朝礼ではその日の動きの確認だけでなく前日の振り返りを行うことで意見の共有、動きの改善につなげている					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○							
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修の機会・研修のアーカイブ配信で学ぶ事が出来るようになっている					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPIにて掲載されている					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		意見交換を行いながら児発管が作成を行っている					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		朝礼時やミーティングを用いりながら検討を行っている					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		共有後からは都度意見交換を行っている					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		翌日の朝礼時等に支援の振り返りをする事で日々の行動観察の報告を行っている					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児発管と担当指導員が意見交換を行いながら目標設定を行っている					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員同士で相談しながら活動プログラムを立てている。					

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化にならないように内容の工夫を行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		同時刻の利用者同士の活動を行う事がある	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝の朝礼で情報共有を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼時には特記のみの共有であるが翌日の朝礼時に前日の共有を行い気付いた点などノートにまとめるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録を作成し支援の検討や改善を行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		日々の支援の振り替え 定期的にモニタリングを実施し 見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当職員と管理者が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		ご様子等をお手紙等で渡す等している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			継続的な連携の機会を設けていけるように検討を行う
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学先に支援の様子等お手紙にてお伝えさせていただく事もある	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			継続的な連携を今後も行えるように検討していく
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		今後必要かどうかを検討していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		来校時に支援後のフィードバックで保護者の方と共有を行っている フィードバックが難しい家庭に対しては連絡帳を用いてやり取りを行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		今後市などからの情報などをしっかりと把握できるように努める
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		面談時にお伝えさせて頂いている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談時やモニタリング時に設けさせて頂いている	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		児発管が契約時やモニタリング時に実施している	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		フィードバックや連絡帳や電話などを用いて機会を設けている また面談の機会も設けている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		兄弟で同時刻利用の場合交流する事がある	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応体制の方は整えており 契約時に伝えている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログや通信で発信を行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫を使っている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		言葉が出ない児とはカードや筆談でのやり取りを行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		機会を設けるか検討する必要がある
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		ブログや通信を用いながらお伝えをしている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		誘導から避難迄の訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		面談時やフィードバック時に聞き取りを行っている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事・おやつ等の提供を行っていないが アレルギー等の確認は行っている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し安全管理について 共有・訓練を行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ブログや通信を用いながら周知している。 また一緒に避難訓練なども行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内で共有しながら 安全に運営できるように努めている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		会社独自の研修や事業所内研修を行い 未然防止に努めている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に説明を行っている	